

学校だより



平成 29 年 9 月 29 日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

キンモクセイ

学校長 石川 秀子

通勤途中にキンモクセイの香りが漂ってきました。周りを見回し小さなオレンジ色の花が咲く木を見つけ、季節は確実に移り変わっていることを実感しています。「暑さ寒さも彼岸まで。」とはよく言ったもので、近頃の朝夕は秋の訪れを感じるようになってまいりました。何か柔らかな爽やかな季節の訪れを感じるキンモクセイの香りと共に、上野動物園のパンダの赤ちゃんの名前が「シャンシャン（香香）」に決まったというニュースも届きました。小さな命が生まれ育っていくことを喜び、応援する世の中であってほしいと思う出来事の一つです。

さて、9月は二谷小学校では5年生と3年生が宿泊体験学習に出かけ、4年生と1,2年生が校外学習・遠足に出かけました。複数の学年が活動の場を校外に移しての学びが続きました。10月には6年生が日光修学旅行に出かけます。当日の体験からも多くを学びますが、活動に向けての計画や準備、期待や願いなどの思いを育む期間も子ども達にとっては大きな学びです。

私は南信州宿泊体験学習に5年生と一緒に行ってきました。たくさんの体験と様々な方々とのかかわりの中で学んできた5年生ですが、特に努力し成長した取り組みがありました。それは「5分前行動」と「履物をそろえる」という取り組みです。集団での活動は、一人ひとりが気持ちをそろえ一緒に活動することが多くあります。特に日常の学校生活を離れた環境では新しいことや慣れないことが数多く起こります。その中で5年生が取り組んだこの2つは、学校に戻ってきても達成感とともに自信につながった取組です。皆で時間を守り、身の回りや気持ちをコントロールする意識を持つことは大切です。でもその声のかけ方は難しい。「がんばろう」という思いはともすると強制につながる雰囲気を持ってしまいがちです。みんなが気持ちよく自分から進んで取り組むには、強い働きかけが必要な時と、緩やかな声掛けに近いほうが有効である場合があります。確実にあるのだけでもふんわりと同じ空間を共有している、どこかから漂ってくる香のような感覚ではないでしょうか。

はっきりとくつきりとわかるよさもあれば、ほんのりと感じられるよさもあります。前期末が近づき、各御家庭に「あゆみ」を通して子ども達の成長をお伝えする時期になりました。「あゆみ」は、学校での子どもの学びの姿や活動、努力や成長・今後の課題を保護者の皆様にわかりやすく伝えるものです。何よりも子どもには励みになるようにしたいと願いつつ、各担任が作成しています。学期末の「あゆみ」だけが子ども達の姿をお伝えできる手立てではありませんが、これを機会に各御家庭でも前期の出来事を思い起こし、努力を認め、これからの目標づくりに役立てていただきたいと思います。

地域・保護者の皆様も健康に留意されお過ごしください。今月もよろしくお願いたします。